

令和3年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立友和小学校	校長	二野宮 大英	生徒指導主事	大岡 昌子
-----	------------	----	--------	--------	-------

取組事例名	『たてわり班活動（そうじや集会を通して）』
-------	-----------------------

取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「協調性・柔軟性」	1	共感, 多様性の受容	2	「自己理解・自らの自信」	3

取組のねらい

学校生活を明るく楽しいものにするために、異年齢の児童同士で協力し、主体的に考え行動する児童を育成するとともに、児童の自己有用感を高める。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『つながる 友和っ子』
----------	------------------------

- ・たてわり班掃除
- ・1年生を迎える会・6年生を送る会
縦割り班対抗のレクリエーション
- ・たてわり班集会
 - 1 運営委員会が縦割り班集会の企画をする。
 - 2 班ごとに集まり、何をして遊びたいかを話し合う。
 - 3 班長（6年）が集まり、場所や遊びの内容の調整を行う。
 - 4 ロング昼休憩に各班で集まりレクリエーションを楽しむ。
 - 5 ふりかえりを行い、メッセージ等、感謝の気持ちを伝える。

- ・顔合わせの会
- ・一人一役
- ・無言掃除
- ・班長会を開くなど班長が事前に準備をする。
- ・低学年も楽しめるか、どうしたら班のみんなが仲良くなれるかを考えて調整させる。



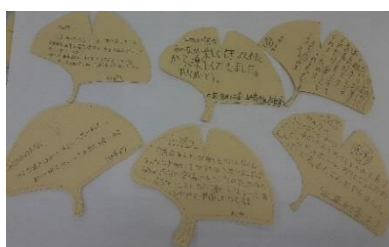
廊下でボーリング



ウノを教えてもらいました。



「だるまさんがころんだ」



集会後のふりかえり・交流

取組の成果と課題

簡単な遊びの経験が少ない児童が多く、遊びを通じた交流を心から楽しんでいるように感じた。また、高学年では準備の大変さを実感しながらも、高学年としての自覚を再確認する良いきっかけとなったようだ。事後アンケートの結果、「班の人と仲良くなれた」と肯定的に評価した児童が80%を超え、「掃除など、これからも班で協力していきたい」と回答した児童は90%を超える結果となった。コロナ禍で活動が制限されたが、継続的に取り組み、縦割り班活動をもっと活性化して、人とのつながりの温かさを実感できる活動にしていけたらよかった。